

開講科目名 / Course	老年看護学実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	小野 美喜	
担当教員名 / Instructor	小野 美喜、堀 裕子、中釜 英里佳	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
授業回数	20	
科目の目的と概要	介護老人福祉施設および介護老人保健施設に入所している高齢者（要介護者）の生活を理解し、生活の維持・向上をめざした援助や高齢者を支援する多職種連携システムを学ぶ。また多職種と協働した高齢者の援助を体験することで、老年看護の専門性や看護者の役割を学ぶ。	
到達目標	1. 高齢者施設で生活している高齢者の全体像について述べるができる。 2. 老年期に生じる多様な健康上の問題と、健康の維持・増進について述べるができる。 3. 高齢者の生活の質を維持・向上するための援助が説明できる。 4. 高齢者の健康生活を支援する多職種連携体制と看護の役割を説明できる。 5. 高齢者を尊重した基本的態度で参加できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	1. 実習期間 第3段階実習期間（9月1日～11月21日）のうち1週間 2. 実習場所 大分市内の介護老人保健施設および介護老人福祉施設（配置施設にて実習） 3. 実習方法 施設に入所している高齢者を担当しアセスメントを行い看護の方向性を考察する。臨地実習指導者と共に高齢者のより良い生活を目指した看護援助を実践する。また、デイサービス・デイケアを利用する地域高齢者との交流から、生活の維持・向上をめざした援助や高齢者を支援する方法を体験する。実習期間中、デイリーカンファレンスおよび最終カンファレンスを実施する。カンファレンスでは、担当事例への看護実践を発表し、高齢者に対する看護の質向上を目指して議論を行う。	
その他の授業の工夫	担当した高齢者をアセスメントし、臨地実習指導者の下で援助を実践する。施設にて指導者とカンファレンスを実施し学びをプレゼンテーションし意見交換する場を設ける。	
時間外学修	担当高齢者についてのアセスメントや看護の方向性は、テキストや図書を使用し、課題様式にまとめて学習をすすめる。課題様式を指導教員に提出し指導を受ける（2h）。デイリーレポート作成、翌日の予習を行う（2h）。	
評価方法と評価割合	出席状況（原則全日出席）、目標に照らした実践内容（70%）、グループ討議の参加度（10%）、レポートの内容（20%）で評価する。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学（医学書院） 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論（医学書院） 系統看護学講座 基礎看護学 （医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件	老年看護学概論、老年看護学援助論、 、老年看護学演習を履修し、単位を取得していること。	
その他	感染症等の疑いがある場合は、高齢者施設での実習ができないため体調管理に留意して臨むこと。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	小野美喜：病院の看護師 堀裕子：病院の看護師 中釜英里佳：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	高齢者施設に勤務する看護師
実務経験をいかした教育内容	高齢者施設で暮らす高齢者の個別性のある看護や多職種連携についてディスカッションし、看護の振り返りと思いを支援する。また、高齢者に実施する看護技術の習得を支援する。	